

# 施策評価表

平成28年度分

① 施策コード	2・2・3					
② 施策名	サービスの総合的推進体制の充実	評価担当課	保健福祉課	総合戦略	行政経営	過疎
③ 目標	元気高齢者の割合					
④ 現状と課題	<p>◆ 本市は、年少人口の減少と高齢者人口の増加が進んでおり、高齢者人口の割合（平成22年国勢調査）は国（23.0%）や宮城県（22.3%）よりも高く3割以上を占め、着実に少子高齢社会が進行しています。</p> <p>◆ 少子高齢化や生活様式の多様化などによって、ひとり暮らし高齢者の増加や地域コミュニティの希薄化が進み、家庭や地域における介護力の低下が懸念されています。それによって、地域での孤立化や緊急時の対応、将来の生活など、不安を抱える高齢者が増えています。</p> <p>◆ 高齢化の進行に伴い、日常生活を送る上で様々な支援を必要とする高齢者の増加が予測されることから、住み慣れた地域で安心して生活を続けることができるようするため、医療・介護・予防・住まい・生活支援を総合的に提供する「地域包括ケアシステム」を構築する必要があります。</p> <p>◆ 高齢者が社会参加や生きがいなどを求めており、地域や社会活動への参加意識が高まっています。こういった高齢者の志向やニーズを踏まえ、活動の機会を提供していくことが望まれます。</p>			施策の内容	<p>行政をはじめとする関係者間の連携・協力のもと、支援を必要とする高齢者に適切なサービスを継続して提供していくための仕組みである「地域包括ケアシステム」を構築して適切に運営することにより、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するための体制整備を推進します。</p>	

## ⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)					
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
地域ケア会議開催回数	回	11	9	5				

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	1,128	7,475	11,524	4,760	4,760

## 1年間の取組の総括

⑧ 1年間の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別ケア会議において、処遇困難な事例について関係者との情報共有や課題解決に向けた支援ができた。また、個別ケア会議から把握された地域課題を地域包括ケア推進会議において関係団体等と共有し、解決策の検討を行った。</li> <li>・在宅医療・介護連携事業では、医師会や近隣市、介護事業所等と連携を図り、全事業項目に着手し、医療・介護資源のサービスマップを作成している。</li> <li>・生活支援コーディネーターを配置し、地域包括ケア推進会議を協議体として位置付け、生活支援体制の整備について協議する環境を構築した。</li> <li>・介護施設等の整備に関する事業量を適切に見込み、補助金をスムーズに交付することによって、介護サービス提供体制整備の支援につながった。</li> </ul>	
⑨ 施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	◎	<p>【◎】おおむね順調</p> <p>【○】いっそうの推進が必要</p> <p>【△】抜本的に見直しや改善が必要</p>

## 今後の取組

⑩ 今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援を目的とした多職種による個別ケア会議の開催に向け、関係する職能団体等と協議を進める。また、地域包括ケア推進会議で継続して地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築に向けた検討を行う。</li> <li>・在宅医療・介護連携事業については、これまで角田市との連携強化を進めてきたが、さらに仙南圏域での連携を推進するため、関係団体と幅広く打合せを重ね、顔が見える関係づくりを進める。</li> <li>・生活支援体制の整備については、専従の生活支援サービスコーディネーターを確保し、住民ニーズの把握に努める。</li> </ul>
---------	--

⑪ 次年度以降の方針 (主担当課)	現状維持	【説明欄】
委員会評価	現状維持	【委員会意見欄】